

◇山形県知事賞

株式会社小嶋総本店（米沢市）

＝伝統産業が地域と協働して実現する循環型の酒造り＝

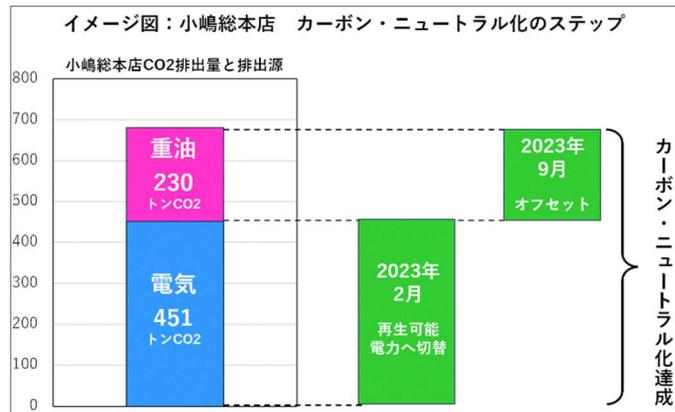
1597年に創業し、「東光」ブランドで日本酒を醸造し約20カ国に輸出しています。2020年から南米から輸入していた醸造アルコールの使用を廃止し、製造するすべての日本酒を、山形県産米を中心に国産原料だけで醸造する「純米酒」としました。このことにより、輸送による二酸化炭素排出量削減につながりました。

さらに2023年には、酒造りに使用する全電力を自社の酒粕を活用した再生可能エネルギー電力に切り替えました。これは、清酒製造時の副産物である「酒粕」から焼酎を蒸留し、残った焼酎粕を飯豊町の「ながめやまバイオガス発電所」で発電に活用し、その電力をおきたま新電力を通じて購入したものです。さらに、J-クレジットを購入することで、重油ボイラーの二酸化炭素排出量をゼロ（オフセット）にし、カーボンニュートラルを達成しました。

あわせて、太陽光パネルと電池で動く自動除草ロボット「アイガモロボ」を使った無農薬栽培実験を開始し、2023年農薬不使用米を使用した日本酒を販売したほか、地元小学校への環境学習も行いました。



小嶋総本店の循環型エネルギーサイクル
(酒かすを活用した電力の利用)



小嶋総本店のカーボン・ニュートラル化へのステップ

